

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和3年度 第2回佐渡市児童館運営懇談会	
開催日時	令和4年3月17日(木) 午前10時～11時	
場 所	金井コミュニティセンター 2階 大会議室	
議 題	1 令和3年度佐渡市児童館事業経過報告について 2 今後の児童館運営について 3 情報交換	
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開	
出席者	参加者 児童館職員 事務局	有識者 5名 子ども若者課長 市橋 法子 ちのわの家館長 小田きみえ 畑野児童館館長 渡邊 則子 子ども若者課子育て支援係長 須田 大輔 子ども若者課子育て支援係主事 鈴木 峻太郎
会議資料	別紙のとおり	
傍聴人の数	0人	
備 考		

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
事務局 須田	<p>議題1 令和3年度佐渡市児童館事業経過報告について 別紙のとおり。</p> <p>議題2 今後の児童館運営について 【前回までのまとめ】 ＜加茂地区＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物周辺の地盤沈下により、建物の傾斜が進んでおり、児童が利用する施設として危険度が高いと判断している。ちのわの家の事業継続が難しくなっている状況にあるため、加茂小学校内に児童クラブを設置する方向で進めている。 ・加茂小学校区には児童クラブがないため、保護者からは児童クラブ設置希望の声が寄せられており、令和3年度においては、両津児童クラブなど他地区の児童クラブを19名が利用している。令和4年度においても29名の利用希望者がいる。

<p>事務局 須田</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月の加茂小学校建設検討委員会の中で示された加茂小学校長寿命化工事のスケジュールでは、令和3年度に設計業務、令和4年度秋ごろに仮設校舎が完成予定の為、令和4年度中、もしくは令和5年4月からの学童開設を目標に進める。 <p><畑野地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑野児童館は平成30年に屋根の全面改修が終了しており、建物としては当面利用可能なため、当分の間、児童館機能を維持しながら、学童化にむけた準備を進める。 ・学童の整備については国の補助金を活用しながら、計画的に行う必要があるため、まず建物の危険性が高い加茂を先行して整備し、その後畑野の学童整備を進めていく予定であり、学童整備が進めば最終的に児童館は廃止となる。 ・畑野児童館には柔道場もあることから、地区柔道教室や畑野中学校が利用していることもあり、学童化を進めるにあたっては教育委員会とも協議が必要。 <p>【変更点】</p> <p><加茂地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月に開催された第3回建設検討委員会の説明では、加茂小学校長寿命化工事のスケジュールが後ろ倒しになっており、令和4年度の3月下旬に仮設校舎が完成するスケジュールが示されたが、定期的に学校の運営に支障があるため、3月上旬の引っ越しを検討している。それに伴い、児童クラブも、令和4年度末に仮設校舎への引っ越しを終えて、令和5年4月からの学童開設を目指している。 <p>【今後の予定】</p> <p><加茂地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童整備が順当に進めば、ちのわの家は令和4年度末に廃止の予定。 ・まず始めにちのわの家の保護者会の皆様に、これまでの経緯を説明。 ・令和4年4月22日開催予定の加茂小学校PTA総会の中で、加茂小学校のPTAの皆様に児童クラブについて説明する予定。 <p><畑野地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な時期は提示できないが、加茂の学童化を進めながら、畑野についても協議を進めていく。 <p>【質疑応答】</p> <p><加茂地区></p>
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ちのわの閉館が令和4年度末で、開設が令和5年度ということだが、この間、子ども達がどちらも利用できないということにならないか確認したい。

<p>市橋課長</p> <p>C氏</p> <p>小田館長</p> <p>市橋課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には年度末の3月31日まで児童館は開設する予定で進めている。令和4年度中に新年度の募集を行い、許可が出た方については、新年度の4月1日から学童へ移れるよう、円滑に進めていきたい。 ・利用に関しては厳しくなるので、早めに周知してほしい。 ・その後、ちのわの家で令和4年度の利用者に説明してほしい。 ・今、他の学童を使っている方が19名いますが、それ以外にも使いたい方がいると思う。まず、4月のPTA総会の中で、こういった形で進めたい、申し込みがいつぐらいになりますと説明します。当然料金もかかってくる話になるので、その後は使っていない方に注意してほしいところを具体的に順次説明していきたい。 <p>補足ですが、ちのわの家は、この移転に合わせて、令和4年度の予算に、解体設計の予算を計上している。令和5年度にクラブの方に移転を完了した後、令和5年には解体という運びにしたい。</p>
<p>渡邊館長</p> <p>市橋課長</p>	<p><畑野地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年後とか、何年後とか、市の考えはあるか。 ・市としては、ある程度財政的な試算も必要です。また、地区の柔道教室とか、中学校の授業で活用している柔道場の問題があります。学童が始まれば、おそらく柔道場の併設は難しいです。そうなってくると、柔道の授業を、中学校で畳を買ってどうやっていくのか、地区の柔道教室、近くで言えば新穂の武道館に十分整備してあるので、そちらを併用できないのか、加茂がだいぶ確定してきたので、そのあたりを進めつつ、加茂の移転が終わった段階では円滑に畑野が学童化できるように進めたいと考えている。皆さんのご意見を伺いながら、できるだけ周りに影響の少ない形で整備をしたい。例えばこの加茂の長寿命化のスケジュールでいくと、新校舎に移るのが令和6年の夏ぐらいなので、このあたりの時期には畑野の学童化の話が皆さんにご了解いただいていると、翌年度から何か整備が始められたらと考えている。ただ、財政的な負担の部分、それから国の補助金申請の関係、地域のご理解、保護者のご理解のところを踏まえてあと2年しかない中で、その2年の中で子どもさんも保護者の方々も変わっていく中で、どのようにしていくのが皆さんにとってご利用しやすくなるのかというのは調整しながら進めていく必要がある。
<p>渡邊館長</p> <p>市橋課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今、柔道教室は、コロナ禍でずっと使っていない。児童館の畳は、柔道の練習をするのに耐えられないとありました。変えて欲しいと希望したが、それは予算的に難しいと。しかし現状では使っているということですね。 ・畳替えの話は、平成28年に私が社会福祉課へ来た時に、市の柔道連盟から要望があった。当時、畑野町では併設で文武両道という理念の元でやっていたのは十分承知しているが、子どもの人数を考えれば、

市橋課長	<p>新穂と併用でやっていくことはできないかと提案して、当時の社会教育課の中で、新穂の方をまず整備しますと柔道連盟と話をしました。現状は先生がご承知の通りで、怪我がいつあってもおかしくない。それで柔道はできるのかというような状況になっているので、当時の中学校の方にお話しに行き、危ない部分があるが、柔道場として使うメンテナンスを実施することは、社会教育課との協議のうえでできないと話をした。学校の方では、使う際は十分責任をもってやっていく。柔道教室も、怪我の保険で十分に対応できるという中で、使えなくなったらすぐやめると、怪我などの危険が出ればすぐ止めますという条件の中で進めている。今のところ、怪我がなくて本当に良かったと思っているが、畑野の柔道をやっている方のお話を聞いたら、コロナ禍でできないのと、設備的に厳しくなってきたという話でした。子どもが怪我をする前に、新穂の武道館で一緒にやることを考えてくださいと話しました。現状確認をして危険という判断がされれば、私は両方に使用禁止という形で再度お話をさせていただきます。子ども達が上を目指しながら一生懸命やっていることを支援するにはどうしたらいいかということをお話して社会教育課とも新年度に入ってから協議していきます。</p>
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の柔道教室はどうしているのですか。体育館に畳を敷いてやっているのですか。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしているところもあります。18時間か19時間の必要な時間単位があるということでした。学校側からすれば、例えば新穂の武道館までバスを借りて子どもを乗せていくと、時間ロスがあるから、今の場所というのは、ご希望としては十分承知しています。そこをうまく、子ども達の授業の支障にならないように工夫ができるのかは所管課とも話をして、学校のご意見も十分に聞いた上で、移行する必要があります。ただ、今の場所を危険なまま、危険であると分かっているうえで使ってもらおうというのは好ましくないの、年度初め、柔道教室の利用許可の申請がある時に説明しています。先生からも情報ももらいながら、危険であれば、利用できませんというお話をしていきたい。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道場は、子ども達にとっては格好の遊び場で、壁にわざとぶつかって行って楽しんでいる子もいる。わざとはやめてねとは言っているが、転がっても痛くない、とてもいい遊び場です。柔道の方達には申し訳ないが、とても利用度が高い場所です。畑野児童館としては格好の遊び場で、大変重宝している。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・畳に隙間があると、指を挟んで骨折するリスクがある。それを防ぐために柵に木柵を必ず設置してあるが、前回見に行った時には木柵がずれていた。修繕となると結構な修繕費用が必要です。子ども達がわーっと走って行って、滑り込んだりぶつかったりしたときに、畳がずれ

市橋課長	<p>る。それは柔道としてはたぶん使用は厳しい状況になってくると思うので、そのあたりは利用する方に事前に危険度がないような体制で使ってほしいとお願いしている。新穂の武道館は3年くらい前にお金を積んで畳を直したので、できればいい環境を子ども達に提供できるといい。また個別相談しながら進めていきたい。</p>
座長 A 氏	<p>議題3 情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここから情報交換ということで、なにかご希望等ありましたらお願いします。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回出席の地区には学童がないが、来年度の市内の学童保育の状況を報告します。
事務局 須田	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の児童クラブの入会募集を、12月から1月末にかけて実施しました。佐渡市内に12か所の児童クラブがあり、定員の合計460名に対し、620名から申請があった。市しても本来は全員受け入れられれば一番良いが、児童の安全と職員の体制を考慮して許可を出しました。特に多かったのが両津、佐和田、金井、この3地区については基本的には1年生～3年生を優先に許可し、4年生以上には、配慮が必要な児童に対してのみ許可を出しました。特に長期休みの利用希望が多いが、この3地区に関しては、長期の利用はかなりの人数でお断りしました。この3地区以外については、基本的には申請のあった方は、特別の問題がなければ利用の許可を出しています。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・佐和田は6年生まで受け入れられるよう40名定員のクラブを2つ作って80名定員にしたが、全然追いつかないです。620名というのは、あくまでも申請の状況です。中には1年間丸々使わない、保険で登録しておくという方も中にはいるので、本当に利用を必要としている、そのサービスを必要としている方に利用していただくために、来年度から、一定の期間、2～3か月ご利用がなければ、クラブを退会していただくような形でご案内しました。まさかの時に使いたいのですというようなことは重々承知しておりますが、使いたいけど使えないというような状況も発生しているので、本当にそのサービスを必要としている人に届くようにやっていきたい。今年度からスタートした民間の児童クラブも20名定員だったところを来年度35名まで増やしましたが、そこももういっぱいです。今年度は市の児童クラブで不許可が出た4年生を預かってくれてすごくありがたかったが、来年度はそれも無理ということで、いっぱいいっぱいの状況です。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・畑野児童館は、長期休みになると新穂に行ったり真野に行ったりしている子どももいますが、受け入れてもらえるってことは、そこは定員に達していないということですよね。両津、佐和田、金井は多いけれども、他の地区は突然畑野から行っても、受け入れてくれるということはいっているということですよね。

市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらつきはあります。ただ、定員が例えば 40 名だったとしても、登録は 50～55 名まで受け付けます。平日毎日必ず利用する子どもさんと、長期だけ、土曜日だけという人もいるので、定員や施設の面積要件もあるので、受け入れられる人数までは受け入れています。事前に申請していただくので、長期だけの利用希望等があれば、一度判定にかけて、可能ですというご案内をしています。小学校は、金井とか河原田あたりが人数的に多いし、両津の場合は、河崎小を両津児童クラブで一緒にお預かりしているので、ニーズも多い。小学校 1 年生は、だいたい申し込んできますので、低学年が多くなってくるとどうしても高学年のご利用を控えていただくことが出てくるという状況です。
D 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、畑野が学童になることによって、460 人の定員は増えていくのですか。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・畑野の定員数分が増えます。来年度、加茂が増えて、そのあと畑野が増えていきます。子どもの数は減っているが、学童の申し込みの数は減らないです。
D 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・それだけニーズが多いということですね。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・平日ご希望の家庭は、共働きでどうしても低学年ひとりで留守番させておくのが心配だと、十分その気持ちは分かります。ただ、今一気に整備していったときに、この後どうなっていくかというのは非常に心配なところで、子どもの安全も含めて学校併設というのを念頭に置きながら進めています。例えば、学童が縮小して子どもが少なくなったとしても、学校や地域の活用ができるような、空き教室を無駄にしないというような活用も、遠い将来ですがそのあたりを見据えて、整備を進めていくことが必要と考えています。
C 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・新穂地区の行谷の子ども達はどのようにしているのですか。あそこは民間ではないのですか。市での学童ですか。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市の学童で、バスで移動しています。昔の大野保育園を使っていますが、かなり老朽化しています。
C 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・新穂小と行谷小の子どもさんはバスで送ってくれているのですね。養護学校は民間運営ですかね。どこがやっているのですか。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校は、放課後デイが去年の 10 月くらいからひとつできましたし、新星学園でやっています。畑野にもうひとつ。昔の中村工業さんかなんかだった場所だと思いますが、そこで放課後デイをやっています。あそこもすぐいっぱいになります。10 月開所したら 11 月にはもういっぱい、来年度の申し込みはほとんど取れないようです。障がいのある子ども、特別支援学校に通っている子ども達の保護者は、定職に就くというよりは、パートでしか働けないと。放課後デイがないと迎えに行かなければならないしということで、すごく望まれて増設しましたが足りていないです。
C 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・私が保育園にいた時に、対象のお子さんがいました。お父さんは養護

C氏	<p>学校、お母さんは小学校に入りたいと。ご両親で相談されて、最終的には養護学校を利用して、そこの放課後クラブみたいなどころに入っていた。</p>
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービスと、日中一時支援という別の事業があるが、放課後デイがかなりいっぱいいっぱいの状況です。小学生とは言いながらも、中等部の子ども達も若干入る形にならざるを得ないとか、重度の子どもさん達も何人かいるので、そこはかなり苦慮しています。市の学童の利用者の中でも、特別支援学級に通われている方もいます。そのため、できれば学童でお預かりするよりは放課後デイの方が子どもさん達にとっていい刺激があると思う子どもさんもありますが、送迎に課題があります。ファミリーサポートセンターを使って送迎とかもご利用できるというご案内はしますが、受け入れ先がまず無理なので、新穂の方は全然入れないです。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・勇樹会の民間学童がありますよね。畑野小学校では誰か使っていますか。
D氏	<ul style="list-style-type: none"> ・使っていないです。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな場所に送迎に行っていますよね。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂、新穂、行谷、金井あたりに送迎に行っています。
事務局 須田	<ul style="list-style-type: none"> ・勇樹会さんの方で送迎範囲を決めて、ご案内しています。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・相川までは行かないのですか。
事務局 須田	<ul style="list-style-type: none"> ・行かないです。佐和田にも行っていません。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、佐和田が多かったのですが、なんとか吸収してもらえないかをお願いしましたが、定員がいっぱいで難しいようでした。
D氏	<ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べたらこれだけ学童が整備され、今の子どもは非常に恵まれている。我々の頃には学童はないから、子ども達同士でどこかで遊んで。非常に手厚い子どもへの支援というのは大変良いことではあるが、あまりにも拡大すると親は何やってるんだと。家で子どもを育てる力というか、そういうものが育たない。要するに人任せですよ。そういう個人的な意見で申し訳ないですが、支援、支援でやっていくのも大事ですけど、子ども同士が自主的に遊ぶとか、そういった力がなくなってしまっておそれもあります。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・私も子ども若者課へ来て、整備しているとそれは思います。サービスばかりが先行しているような状況というのは、佐渡市内あると思っています。佐渡市は、子育て支援のサービスが結構充実していると思っています。ただ、親御さんたちが働かざるを得ない状況というのも当然ありますし、でも子どものために休める時間というか、働き方の部分で変えていかなければいけない。サービスばかりだと先生がおっしゃるように、任せておけば、というような親御さんが増えてくるのも事実だろうと思います。そうすると子若センターの出番です。サービスが重ね合わさっていくということになるのですが、子どもを育て

市橋課長	<p>るのに親御さんの姿が見えないご家庭というのが少なからずありますので、過保護にならないように。子どもの安心安全は大事ですけど、それが子ども達の体験を奪わないような、過保護にならないような支援を目指しているところです。今回、佐和田と金井の児童クラブの件を、議会で説明したら、なんとかみんな吸収してと言われたが、人も配置できないし場所も無理なので勘弁してくださいというような話をした。ただ、ファミリーサポートセンターなどのご利用を併せてご紹介しながら、皆様方が必要なサービスを選んでいただけるようにしていきたいと思っています。本当に、遊び方知らないかなと思います。うちの近所も小学生2人しかいないですけど、外で遊んでいるのを見ないです。</p>
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・過保護というところで、私もよく児童館から畑野小の駐車場を見るんですけど、迎えに来る車の多いこと。小学生で。中学生もですけど。迎えの時間帯になると、ラッシュですね。それも、遠いのではなく近い人がお迎えに来るんです。お天気もいいのに、なんで歩いて帰らせないのかなと。本当に30分も40分も待っている人もいます。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、通勤途中で、自転車で通学する中学生を見なくなりました。皆さん送迎だろうなと思っていますが、自転車通学はそれなりに体力使うし、結構よかったですと思います。
渡邊館長	<ul style="list-style-type: none"> ・5時間6時間と兄弟で利用することがあります。5時間で終わった下の子は児童館にいて、お兄ちゃんお姉ちゃんが6時間で終わると児童館に来るとい人もいます。お兄ちゃんが弟を迎えに来て、2.2kmちょっとあるところを歩いて帰るんですね。そういう子をみると、偉いね！と言いたくなるくらいです。それって本当は普通だと思うんですけど、本当に褒めたくなるくらい。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会が変わって、私達や教育委員会とか警察から、不審者情報が本当に多く入ってきます。私たちが遊んでいた頃も不審者はいたと思います。でも、やはり心配な事件が全国で多い。弱い立場の子どもをそういった目に合わせてはならないという思いは、やはり地域で見守る仕組みを作れば、子ども達が歩いて帰っていてもいいのかなと思います。積極的に保育園の頃からお散歩とかいろんなことはさせていますが、今の子どもは歩くことに慣れてないですね。教育委員会に聞くと、体力検査か何かであまり高い位置にいないと聞いたことがあるので、保育園では来年度からスポーツ協会と一緒に子ども達の体力をつけるというトレーニングを毎月入れていきます。転ぶときに手をつかない子どもが多くなってきているので、最低限手をつけるようにしようと、そんなところから始めています。
C氏 市橋課長 E氏	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことからやるっていうのが、まず考えられない。 ・本当にそうなんです。今はそこからです。 ・児童クラブ、学童がないので、長期休みは兄弟3人でお留守番させる

E氏	<p>ことがあります、3人とも協力して下の子の面倒を見たり、学童がなくて最初は不安でしたが、その辺はたくましく育てられているかなと思います。どちらがいいかは、なんとも言えないですが。</p>
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、ヤングケアラーという言葉が当たり前のように使われていますが、私の時代なんて、親がいなければ自分たちで見たわけですよ。それをヤングケアラーとして取り沙汰するという、そういう社会になっているということを自分たちも認識しなければならないと思っています。でも、上の子が下の子を見るという、昔で言うガキ大将の縦の繋がりとか、ああいうものも地域でなくなってきているというのが現状なので、そういった遊び方とか、そういうのも教えるのを来年度は民間と一緒に、そういう機会を設けようかと思っています。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・私は5ヶ月くらいの子どものお母さんたちと関わりがあったり、支援センターに代替で行ったりしていますが、まずお母さんたちを育てなければいけない。これって普通じゃできないの？と思うことができない。まず、抱っこができない。おんぶをしたことがない。おんぶすれば両手が空く、そしたら何かができる。上の子どもの面倒が見れると思うのですが、そういうことからお母さんたちに言葉をかけてあげないといけないです。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で、昔のおんぶ紐の使い方をお母さんたちに教えると言っていました。みんな前抱っこなので。それを教えなきゃという保育士さんがいたので。そういう時代なんだよねと。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・抱っこできないのと、前抱っこですもん。びっくりすることがいっぱいあります。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、社会教育課とタイアップして親子教室とか親支援といったことを増やしていきます。また、子育ては女のものだけではないというパパさん講座もやります。市に男性保健師がいるので、そういう保健師さん達と一緒にしながら実施しているのが好評なので、そこを継続していきたいです。
C氏 市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進室もステップアップが結構たくさんありますよね。 ・両津とか畑野に関係ないですが、佐渡市としては初めて認定こども園を、相川に昨年度から整備をしています。本当は4月1日からオープンでしたが、1月に作業員からコロナが何人か出てしまい、工事を中断した関係で、開園が1か月遅れることになった。この5月1日に開園という運びにしています。4月中は新しい園舎が使えないので、今の相川保育園の園舎を使って1ヶ月だけ保育教育を行って、5月から新しい園舎に移ります。今度は駐車場も整備されましたし、園庭も広いものができました。今、相川保育園は駐車場がなく、園庭も狭いので、良い環境にということで整備をしましたので、もし相川の方へ行くことがあれば、県道沿いに建っていますので、ぜひ見ていただきたいです。

C氏 市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園も保育園も一緒ですか。そこには支援センターはできますか。 ・はい、一緒です。支援センターも作ります。支援センターという看板を出すというより、今のたかち子育て支援センターを閉所し、あいかわお出かけ支援センターをやめます。今後は、相川で週3回、こども園で開所する形にします。4月の1か月だけは開発総合センターを使って、5月から新しい園舎で開所します。
小田館長	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の児童クラブの利用料は、どうなっているのですか。民間なので市よりも高いのですか。
市橋課長 事務局 須田	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から少し値上げすると言っていました。 ・令和3年度は、使う、使わないに関わらず月額1,500円でしたが、来年度は日額で300円に変更すると聞いています。
小田館長 市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市の学童の料金はどうなっていますか。 ・市の学童は、9日までの利用が1,000円、19日まで2,000円、それ以上は3,000円になります。
渡邊館長 市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市は、当分値上げはしないということですか。 ・今年度、アンケートを取ったのですが、賛否両論ありました。
渡邊館長 市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・でも安いですね。 ・子育て支援に手厚いのに、料金を上げるのかという厳しいご意見を沢山いただきました。確かに、今コロナ禍で皆様が大変な状況の中、値上げするのも適切ではないだろうと、一旦見合わせていただいたところですが、今度も検討させて頂きながら、他市では7,000～8,000円や10,000円のところまであるので、かなりリーズナブルだと思います。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・吉井のところは、長期休みも行きますよね。それでも1か月いくらかという形でやっているのですか。
市橋課長 小田館長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。送迎も保護者がしていただくことになります。 ・長期の休みは7時30分から19時までですか。長いですね。でも、あそこは体育館もグラウンドも使えるし良いですね。
市橋課長 C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・環境的にも良いので、よく遊んでいます。 ・支援センターとも交流はしていますか。
市橋課長	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ校舎内なので、交流があります。
渡邊館長 市橋課長	<p>この4月の保育専門学校での入学で、一旦令和5年以降の募集は締め切る通知がありました。市としても、保育士が足りない中で、専門学校の卒業生がありがたかったのですが、市の子ども達が学ぶ場が少なくなるので残念です。25人の定員で来年度7人しか入学がないということです。いい試みで、私たちにとっても非常にありがたい養成学校だったのですが、この4月の募集で最後と正式に通知が来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島外から入学してくる人もいましたか。 ・はい。2年くらい前までは、結構島外からの誘致もしていただいていたが、結局3年学ぶと島外に帰るんですよね。佐渡に定着していただければと思うのですが、そこがうまくいなくて。新潟市内も結構保

市橋課長	育専門学校が縮小しています。子どもの数が少なくて、どうしても保育だけでやっていけないと、縮小している傾向にあると思います。
C氏	・私の知り合いは、そこを卒業して勇樹会に就職しました。やはり、1回新潟に出てみたいんですね。佐渡市にもあるから、そっちに入ってみたらと言ったら、男の子ですが島外に行くと話していました。午前中、あちこちの保育園でお仕事されていてね、現場も助かるのにね。
市橋課長	・本当に即戦力で、ありがたかったのですが、子どもを取り巻く環境がどんどん変わっています。
小田館長	・小学校6年生の将来の夢を聞いていたら、結構保育士になりたいという方がいましたね。
市橋課長	・高校くらいまで続いていくとありがたいですが、なんとなくそのうち変わっていくんですね。中学校の課題解決とか、どんどん保育園で受け入れていきますし、お願いしてはいますけれど。
C氏	・コロナでも中学生を受け入れしていましたか。
市橋課長	・受け入れ時期に当たったところがあったので、お断りした学校もありました。昨日あたりは真野小学校が学年閉鎖になるようなところもあったので、まだコロナが1人2人と出ています。これからの転入・転出の時期とか、島内外の往来がありますが、少ない方かなとは思っています。
C氏	・ギリギリですね。代替でちょっとお手伝いしただけなのに、検査しました。でも、それだけピリピリしないといけないと聞きました。
市橋課長	・保護者の方には本当にご面倒をかけたと思います。濃厚接触が出た時点で休園させていただくものですから、お仕事をお休みしていただくような状況を作っていますが、そこで止めないと、蔓延するともっと長い休暇になってしまいます。市では、関係者に濃厚接触者が出て、検査結果が分かるまでは閉めさせていただいて、施設も全部消毒をして、職員体制及び検査結果陰性という確認が取れないと開所できませんということでご理解いただくようにしました。
座長A氏	・地域の情報が知ることができました。ありがとうございました。